

データ活用 2 級合格に向けて

知識科目について

- ◇ 公開した動画（公式が「知識科目対策」として販売している書籍）を使って学習を進める
- ◇ 3 級の知識科目対策とは異なり、1 問に対して正答だけでなく、正答以外の言葉の意味も調べて知識に取り入れておく
- ◇ 略語（POS・GIS・GPS・ASP など）は、なんの略語なのかノートに書き出しておく。英語の意味と日本語の意味を揃えて覚えておけば難しくない
- ◇ 制限時間 15 分以内に完答するには“迷う時間・悩む時間”は不要、10 秒以上悩む問題は見直しチェック☑を入れて次の問題に進む

実技科目について

- ◇ 基本的には操作対象となるデータ件数（レコード件数）は 1,000 件以上
- ◇ 3 級までの関数で対応できる問題もあるが、それ以上に必要な問題も出題される
- ◇ 2 級に必要な関数は 3 級よりも 5~6 個増えるが、特別難しいものはないので、模擬問題の解説を見ながら覚えれば良い
- ◇ 2 級攻略のポイントは、『VLOOKUP 関数』の利用と、ピボットテーブルに必要なデータの見極め ←問題文の前半部分にヒントが隠されている
- ◇ 「商品マスタ」データ・「会員マスタ」データなどのデータを一元管理（1 つのシートにまとめることを）しておく
- ◇ グラフは大きく分けて 4 種類
 - ①複合グラフ「パレート図：ABC 分析」
 - ②散布図「相関関係図：相関がある・ないの判断材料」
 - ③Z チャート図「業績の上昇下降がわかる」
 - ④レーダーチャート図「各要素が全体の中でどのような位置にあるかわかる」

問題の進め方について

- ◇ 実技40分は問題によっては十分すぎる時間にもなる。
- ◇ また、3級同様に延長が可能なため、難しい問題や分析に時間が掛かる問題であれば、延長を覚悟して解くことも必要
- ◇ 焦って問題を読み飛ばしたり、関数ミスをしたりしてはいけないので、時間がかかっても1つずつ丁寧に問題を読み解く
- ◇ 問題文全体に目を通してから問題1（指示1）を開始する
 - 数量と販売単価があっても、販売額（または売上額）がなければ集計の意味が無い
 - 日付から「月」と「日」を分解して表示しても、指示3で「曜日」ごとの売上分析を指示された場合、再度関数を使って表に列を追加するなどの二度手間になる
- ◇ 問題文全体に目を通したら、完成させる表を見ておく（基本的には2つの表を作成する）
どのようなデータが必要になるか予め頭に入れておくと、不要なVLOOKUP作業がなくなる
- ◇ グラフの設定（グラフの配置やタイトルの大きさ・文字の大きさ・凡例の位置など）は3級対策と同様に行うが、指示があればそれに従う
- ◇ データ活用2級特有の問題3（穴埋め文章問題）は、作成した表（2つ）を見ながら解答する場合と、新たにピボットを作成し分析してから答える場合の2パターンがある（よって、問題1と問題2の表作成だけのデータ統一化にならないように気をつけたい）
- ◇ 「～率」の計算結果はROUND関数を使うのか、桁上げ・桁下げボタンを使って表示するのか、問題1の直前にある指示書をしっかりおさえておく
また、金額や数量の書式は「数値とする」などの指示は守らないと数値が正解でも減点対象となるので注意したい

